

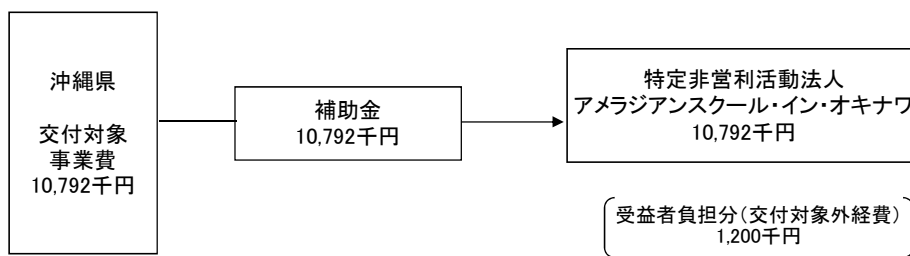
## 平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	55	国際児支援体制強化事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(7)-ア			
担当部課名	子ども生活福祉部平和援護・男女参画課	事業実施(予定)年度	平成 28 ~ 33 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	県民の社会参加活動の促進と協働の取組の促進		
事業内容	アメリジアンスクール・イン・オキナワに通う児童生徒達を対象に児童生徒が本来の学籍がある小中学校への移動及び県立高校等への進学を目標としたきめ細かい学習指導、カウンセリング等の支援体制の強化のための取組に対し支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】		27年度	27年度(繰越)	28年度	28年度(繰越)	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	0	0	10,792	0	10,792
		(b) 予算現額	0	0	10,792	0	10,792
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	0	0	10,792	0	10,792
	B. 執行済額		0	0	10,792	0	10,792
	うち交付金充当額		0	0	8,633	0	8,633
	C. 次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	#DIV/0!	100.0%
予算の状況の説明		・予算額は全て補助金により執行しており、執行率100%だった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	新たなカリキュラムを設定し、必要とする児童・生徒へのカウンセリングの実施及び、中学校課程の生徒への進路指導の実施	目標			カウンセリング 2回/月 進路指導 2回/月	カウンセリング 2回/月 進路指導 2回/月	
		実績			カウンセリング 2回/月 進路指導 2回/月	カウンセリング 2回/月 進路指導 2回/月	
	教務スタッフの資質向上のため、県外への研修出張の実施	目標			2名×1回	2名×1回	
		実績			2名×1回	2名×1回	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導の実施等により、中学3年生6名全員が沖縄県立高校及び米国高校へ進学した</li> <li>・年度途中に5名の生徒が、アメリジアンスクールから公立学校及び英語教育を行う教育施設に移動した。</li> <li>・県外の研修及び教育学会大会への参加により、教務スタッフの資質向上が図られた。</li> <li>・上記3点から、平成29年度の活動目標は概ね達成できた</li> <li>【カウンセリング及び進路指導】目標は月に4回に対して実績は月に計4回なので達成率100%</li> <li>【県外研修】目標は2名×1回に対して実績も同様で達成率100%</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(33年度)
	学籍校等へ移動する高学年児童・生徒の割合	目標	-	-	40%	40%	-
		実績	-	-	16.3%	33.3%	-
	【H30成果目標】学籍校へ復学等する高学年児童・生徒の割合 11%	目標					11%
		実績					
	【H30成果目標】高校等へ進学する生徒の割合 100%	目標					100%
実績							
進捗状況説明	・平成29年度の学籍校への移動・進学率については、実績が33.3%で未達成となっているが、引き続き学籍校への移動等について指導・支援していく。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・アメリジアンスクールの中には、言葉の壁や、いじめといった深刻な問題を抱え、安心できる場所やきめ細やかな指導を必要とする事例が多いため、慎重な対応が求められている。</p>	<p>・児童・生徒に対するカウンセリング等のあり方の見直しや、教務スタッフのノウハウの向上、蓄積を図る。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・学籍校へ移動する高学年児童・生徒の割合向上を図るため、カウンセリング及び進路指導の実施回数を見直しを検討するとともに、教務スタッフの研修に取り組む。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
11,992	10,792	8,633	2,159	0	0	1,200



資金の 使途の 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受益者である特定非営利活動法人アメリジアンスクール・イン・オキナワは総事業費の約1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	